



好きです、孺恋



2009年1月25日
第3号
発行 NPO「好きです、孺恋」
発行責任者 会長 久保八百子

孺恋村と明治大学の 協定締結調印式が行われました



12月14日に、孺恋村との連携協力に関する協定締結調印式が行われました。

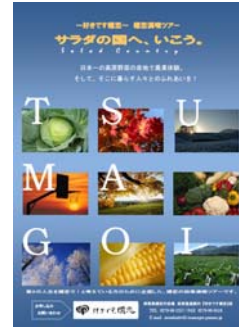
3年ほど前から、孺恋村と明大商学部のゼミが連携して村の活性化に取り組んでおり、昨年度は「好きです、孺恋」のメンバーが受講した伝統技術指導人材の育成講座も行われるなど、これまでも色々な形で連携協力してきた村と大学ですが、今後は更に地域社会への貢献と人材育成を目的に、文化や教育、地域活動などの分野で連携、協力を深めていくということで、今回の協力協定に至りました。

熊川村長と納谷学長が協定書にサインした後笑顔で握手を交わし、その後の挨拶では、熊川村長が「大学の知的財産や人材を生かして孺恋村をアピールしていくことに期待」、納谷学長が「社会貢献という新しい大学の役割を果たしていきたい」というお話をされました。

調印式には「好きです、孺恋」のメンバーも参加し活動報告を行いました。

孺恋満喫ツアー サラダの国へ、いこう

～日本一の高原野菜の産地で、
農業体験をしよう。そうしよう。～



参加者募集中!

主催: NPO「好きです、孺恋」 共催: 群馬県孺恋村
後援: 上毛新聞社・明治大学リバティアカデミー

STEP3(冬) 2月21日(土)、22日(日)

宿泊: ログコテージふりーたいむ (0279-80-6000)

募集定員: 20名

参加費: 13000円(1泊3食付 材料、講習費、入浴料、保険料込み)

申込み締切: 2月6日(金)

21日(土)

13:00 孺恋村役場集合 オリエンテーション

13:30 和かんじき作り

16:00 “湖畔の湯”にて入浴

17:30 『ログコテージ ふりーたいむ』到着

18:00 懇親会

(地元の田舎料理を“好きです、孺恋”会員が手作りしておもてなしいたします。)

22日(日)

8:00 朝食

9:00 『ふりーたいむ』周辺にて雪原遊び・冬の自然観察・
どんど焼き・ホットワイン試飲

10:30 孺恋産そば粉でそばうち講習会

11:30 手打ちそばで昼食

12:30 解散

※ 天候により、内容が変更になる場合がございます。

※ 列車でお越しの方は下記列車にあわせて送迎します。
吾妻線 特急草津4号 万座・鹿沢口発 14:35 上野着 17:17

お申込み・詳細お問合せ

孺恋村観光商工課

Tel 0279-96-1515

今年も大盛況! キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ



9月14日に、キャベチュー2008が開催されました。今年もたいへん盛り上がり、TV・雑誌・新聞など多くのマスコミにも取り上げられました。

1月8日～14日にはぐんま総合情報センターで「愛のキャベチュー写真展」も開催されました。

「好きです、孺恋」活動報告

● 孺恋満喫ツアー パート1 キャベツの植え付け体験

参加者7名。参加者の皆さんからは、感謝の言葉をたくさんいただきました。

● 孺恋満喫ツアー パート2 キャベツの収穫体験

参加者3名。愛妻の丘で愛を叫んでいただき、たくさんの大地のお土産に大満足していただきました。

『上毛新聞社』家族のかたち21に会員の武捨さん夫婦が紹介されました

『上毛新聞社』忘れられない味で会員の横沢基夫さんがそばせんべいを紹介しました。

『テレビ朝日』人生の楽園で会員の手塚愼さんが奥様と共に出演され、放送後、視聴者や友人・知人からの反響がたくさんありました。

NPO「好きです、孺恋」ってどんな会?



◇孺恋の魅力発掘・発信 ◇伝統技術や文化の伝承

◇農業体験 ◇自然体験

◇地域性を活かした新商品の開発



わたしの好きな孺恋

このコーナーは、孺恋村に住んでいる人から見た孺恋村、孺恋村外から見た孺恋村、双方からの『孺恋村』を取り上げて、原稿を書かれた方が次の方にバトンを渡すリレー方式のコラムです。今回は、孺恋村からは『好きです、孺恋』副会長の松本もとみさん、村外からは、明治大学国際日本学部教授であり、『好きです、孺恋』会員でもある吉田悦志先生に執筆をお願いしました。

私の「おとぎの国」

『好きです、孺恋』副会長 松本 もとみ



東京から孺恋に嫁いで20年近くが経ち、あと数年で、生まれ育った東京より孺恋での暮らしの方が長くなります。この2つの地は、3時間足らずの距離であるにもかかわらず、嫁ぐ前も、今も私の頭の中では「現実社会」と「おとぎの国」です。東京から孺恋への短い移動の末に、私は現実から夢の世界へ入り込んだような気持ちになります。本来なら日常生活を営んでいるここ孺恋がすでに私の現実であるはずなのに、いつまでたっても孺恋のイメージは「おとぎの国」です。なぜこんな風に感じるのでしょうか？

それは、孺恋の持つ自然の力です。日々の暮らしの中で、幾度と無く目にし脳裏に焼き付いている風景。けれど、決して見飽きることはありません。それは、四季折々の変化はもちろんのこと、天気、雲の形、日の傾きなどで1日として同じ日がないからです。畑で見る朝焼け、緑のグラデーションのキャベツの絨毯、紅葉の彩りの妙、朝日にきらめく新雪、突き抜けるような満天の星空。毎日見ているからこそ発見できる最高の瞬間。最高の景色。その自然の懐に抱かれるとき、私は心から幸せを感じます。これは、孺恋で暮らす私たちならではの最高の贅沢だと思っています。

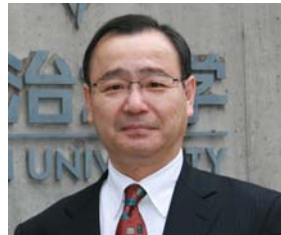
「おとぎの国」が私の故郷になりました。いつまでも孺恋が「おとぎの国」であってくれるように、そしてそれを多くの人に伝えていけるように、これからは私に出来るお手伝いを少しずつしていきたいと思っています。



松本さんの『おとぎの国』、孺恋村の美しい風景です

孺恋の「樅ノ木は残った」

明治大学国際日本学部教授 吉田悦志



いろいろな意見が、私の耳元で囁かれ、呟かれた。明治大学駿河台校舎「リバティタワー」に、樅の木は残ったではなく「樅の木が立った」ことについてである。クリスマスに向けて、リバティタワー・ロビーに巨大なイルミネーション輝く樅の木が見事に立った。どなたがどう具体化されたかは知らぬ。

2008年の暮である。いくらかかったのか、切り取られたものなのか、明治はミッション系大学なのか、さまざまな小さな声が、囁かれ呟かれた。それでも「樅ノ木は残った」。世界の経済が、失速し、日本社会が閉塞するこの出口なき時代だから、心温かく心豊かに、ささやかではあれ過ぎず手法としての、孺恋からの樅の木が、果たした役割を思う。

日本人は教会をぬけ寺門をめぐり神社にのぼる。暮れから新年にかけて、ごく自然に華やぎ、来し方を振り返り、厳粛に手を合わせる。儀式でありまた一人一人の祭り事なのである。

「樅ノ木は残った」、ひと時の華やぎが、心温め心豊かにした。囁きも呟きも包み込んだ。「好きです！孺恋」。



クリスマスシーズンに、明治大学リバティ・タワー1Fに飾られたクリスマスツリー。「孺恋村から皆さんを癒しにやってきた」と書かれたこのツリーに、学生も足をとめ笑顔で語っていました。

次回の『私の好きな孺恋』は、孺恋村からは高橋すみ江さん(吾妻屋食堂)、村外からの執筆者は現在交渉中です。お楽しみに！

★孺恋村でスキーをしよう！★ 各スキー場でお得なイベント開催中！ 詳細は各スキー場、孺恋村観光協会、孺恋村役場観光商工課まで

☆万座温泉スキー場 Tel.0279-97-3117 ☆表万座スノーパーク Tel.0279-97-3121 ☆パルコール孺恋スキーリゾート Tel.0279-96-1177

☆鹿沢スノーエリア Tel.0279-98-0611 ☆孺恋村観光協会 Tel.0279-97-3721 ☆孺恋村役場 観光商工課 Tel.0279-96-1515



◎コミュニティ紙「好きです、孺恋」では、孺恋村で行われるイベント、出来事などを幅広く紹介していきたいと思っております。皆様からの情報をお待ちしております。又、投稿も大歓迎！どしどしお寄せ下さい。お待ちしております！（投稿などについてのお問合せは、下記のNPO『好きです、孺恋』までお願いいたします。）



このコミュニティ紙を発行しております「好きです、孺恋」は、孺恋村が大好きという人たちが集まって作った NPO 団体です。昨年度、明治大学が文部科学省の委託事業として行った『社会人の学び直しプログラム』というプロジェクトに参加した人たちが主なメンバーです。

このプロジェクトを通して出会った人たちが「せっかく孺恋村大好きな人たちが集まったのだから 今後も何か続けていきたい」と考え、このプロジェクトのコーディネーターであり、孺恋村のファンでもある水野勝之 明治大学商学部教授からの提案で、発足しました。

孺恋村民、孺恋村のファンの方、明治大学関係者など、さまざまな人が集まり楽しく活動しております。熊川村長も名乗りをあげてくださいました。『孺恋村が好き』という方であれば、どなたでも参加できる会です。会員は随時募集しておりますので、一緒に孺恋の魅力を発掘したい方、孺恋のために何かしたい方、孺恋をもっと知りたい方、ぜひご連絡下さい！お待ちしております。

NPO『好きです、孺恋』 お問い合わせ先

〒377-1524 群馬県吾妻郡孺恋村鎌原 1045-1170 手塚 慎 TEIL 0279-86-5018